

平成28年度第1回小牧市こども自然体験活動事業委員会 議事要旨

《日 時》	平成28年4月28日(木) 午後2時～3時10分
《場 所》	小牧市役所 301会議室
《議 題》	(1)平成27年度小牧市こども自然体験活動事業報告及び決算報告について (2)平成28年度小牧市こども自然体験活動事業計画案及び予算案について
《出席者》	委 員：山盛委員 波多野委員 小島委員 伊藤委員 橋本委員 鈴木委員 清水委員 杉山委員 馬場委員 倉知委員 事務局：小塚こども未来部長 舟橋次長 永井こども政策課長 丸田係長 青山
《傍聴者》	1名
《会議経過》	以下のとおり

## 1 あいさつ

[こども未来部長]

この委員会の活動は、体を使って作業をしたり、また委員の皆様方を始めとする地域の大人と触れ合うという、子ども達にとっては、日常とは違った体験ができる、大変意義のあるものであり、自然に触れる機会の少なくなった子どもたちにとって、貴重な経験の場となるこの活動は「こども夢・チャレンジ」にふさわしいものであると思っております。忌憚のない意見をいただき、これからも事業の推進に格別のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

## 2 役員の選出

委員長：山盛 英二 委員                      副委員長：清水 豊 委員  
監事：小島 正明 委員(再任)              会計：清水 豊 委員(再任、副委員長と兼任)

[委員長] 自分の理想は、こども達が自由に来て遊べる環境を作ることです。過去の積み上げを大事にしていきたいと思えます。

[副委員長] 委員長を支えながら、頑張っていきたいと思えます。よろしく申し上げます。

## 3 議 題

- (1) 平成27年度小牧市こども自然体験活動事業報告及び決算報告  
・別紙3、4に基づき事務局より説明

\*委員から次のような意見があった。

### ● わくわく魚とりについて

〔委員〕 わくわく魚とりは、つかんでかえすということではなく、持ち帰って育てるという内容なのか。

〔事務局〕 魚をつかまえたら育てましょうというのが一番の目的である。また、「命を大切にしましょう」という内容を記載した看板を掲示している。

〔委員〕 魚とりのその後について、上手に育てられているのか。

〔事務局〕 翌年の魚とりに来た子から、飼って育てている話をいくつか聞いたことがある。

### ● さつまいもほりについて

〔委員〕 草の対策がとにかく大変である。28年度は土に還るマルチを使って行いたい。

〔事務局〕 28年度はその方法でトライしてみたいと思う。やり方や方法は、大山区と相談をして行って行きたい。

### ● 兒の森での事業について

#### 《ジュニアセミナー「里山体験」》

〔委員〕 メニューが固定化されている。変えたい気持ちはあるが、季節のものでなかなか変えられずにいる。

### ● 兒の森の整備の実施

〔委員〕 最近ハイカーが増えている。勝手に道を作っており、困る。また、犬山側から竹が侵食しているようだ。

⇒事業報告及び決算報告について、報告どおりで承認を得られた。

#### (2) 平成28年度小牧市こども自然体験活動事業計画案及び予算案

- ・ 別紙5、6に基づき事務局より説明

〔事務局〕 例年もちつきの際に、体験活動を行っている。28年度の体験活動についてご意見をいただきたい。

〔委員〕 花餅をやるのなら、ある程度まがる木を使ったほうが良い。台はヒノキやマツを使う。

〔委員〕 正月に使えるしめ縄作りができるといいと思うが、教えられる講師がいない。

〔委員〕 小学校の総合学習で、わらを使って草鞋を作っていた。それも良いのではないか。

〔委員〕 縄ないをして、1 mくらいにして、リースを作ってはどうか。

→今年度も縄ないをし、リースなどに応用することとなった。

⇒事業計画案及び予算案について、報告どおりで承認を得られた。

(3) その他

事務局より、5月5日「わくわく魚とり」の説明を行い、協力を依頼した。